

周防大島町地域公共交通計画

- 概要版 -



令和6年6月 変更

令和5年3月 周防大島町

基本理念

楽しく暮らせ、住み続けたい島となるために、 乗りたくなるような公共交通を創造

周防大島町の公共交通を良くする ために取り組む5つの方針



目標① 町民の公共交通利用機会の増加

評価 指標 町民1人あたりの(通学目的以外での)年間公共 交通利用回数(年間利用者数の総和÷人口)

現状値 5.8 回 ▶

目標値 7.8 回

目標② 通学時の公共交通利用の確保

評価 指標 通学目的での年間公共交通利用者数

現状値 213,400人 218,500人

目標3 陸上交通・海上交通の維持に係る行政負担 の抑制

陸上交通・海上交通の維持に係る町の行政 負扣額

評価 指標

陸上

現状値

102,659千円

目標値 100,633千円以下

海上

現状値

17.956壬四

目標値 17.956千円以下

目標4 運賃収入の増加

評価

町内の公共交通の運賃収入の総和

指標

現状値

94.652千円

107.605千円以上

目標⑤ 二酸化炭素排出量の削減

評価 指標

陸上交通の運行に際して排出される二酸化炭素 排出量

現状値

260, 896kg

260.896kg以下

目標6 幹線系統の機能の確保

地域公共交通確保維持事業の地域間幹線系統補 助を受けている路線の年間利用者数

評価 指標

大島本線

現状値 68,221人

73.686人以上

大島線

現状値 109.871人

目標値 110,843人以上

施策① 送迎交通を含めた交通ネットワークの再構築

事業①-1 重複の軽減も含めた路線の見直し

- ▶ 重複して運行している路線 の見直しの検討
- ▶ 移動需要を踏まえた路線の 見直しの検討
- ▶ 安全が確保できる区間にお けるフリー乗降制度の導入

フリー乗降制度のイメージ ▶ (出典:島原鉄道webサイト)



事業①-2 公営の送迎交通の取り込み

- ▶ 公営の送迎交通を公共交通に取り込み、町営バスと して運行
- 民間の送迎交通の転換に係る検討
- ▶ 官民連携型の公共交通運営の実現に向けた検討



▲送迎交通を公共交通に取り込んだ例 (出典:狭山市webサイト)

事業①-3 商業施設等への乗り入れ

▶ ニーズのある商業施設、医療機関の敷地内への乗り 入れ

事業①-4 生活航路の維持

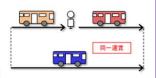
▶ 持続可能な運航形態の見直し等の検討と、生活航路 の維持

施策② 使いやすい運賃体系の確立

町全体の公共交通の料金体系の見直し

▶ 町営バスを中心とした分かり やすい料金体系への見直し

▼月額定額制の事例 (出典:近江鉄道グループwebサイト)





乗車場所と降車場所により運賃が決定 →乗継ぎを行っても直通と同じ運賃



移動したゾーン数により運賃が決定 →利用者にとってわかりやすい運賃体系

▲ゾーン運賃制のイメージ (出典:広島市地域公共交通網形成計画)

基本理念

楽しく暮らせ、住み続けたい島となるために、 乗りたくなるような公共交通を創造

周防大島町の公共交通を良くする ために取り組む5つの方針



目標① 町民の公共交通利用機会の増加

評価 指標 町民1人あたりの(通学目的以外での)年間公共 交通利用回数(年間利用者数の総和÷人口)

現状値 5.8 回

目標値 7.8 回以上

目標② 通学時の公共交通利用の確保

評価 指標 通学目的での年間公共交通利用者数

現状値 213,400人 目標値 218,500人以上

陸上交通・海上交通の維持に係る行政負担 の抑制

陸上交通・海上交通の維持に係る町の 行政負担額

評価 指標 陸上

現状値

45.5%

目標値

110,659千円 109,002千円以下

海上

現状値

目標値 17.956壬円 17.956千円以下

評価 指標 幹線系統の収支率

現状値

目標値

46.5%以上

目標④ 運賃収入の増加

評価 指標 町内の公共交通の運賃収入の総和

現状値

目標値

108,618千円以上 95,479千円

目標⑤ 二酸化炭素排出量の削減

評価 指標 陸上交通の運行に際して排出される 二酸化炭素排出量

現状値 260, 896kg 目標値

260.896kg以下

目標⑥ 幹線系統の機能の確保

地域公共交通確保維持事業の地域間幹線系統 補助を受けている路線の年間利用者数

評価 指標

大島本線

現状値 73,194人 目標値

78,659人以上

大島線

現状値

目標値 110,843人 🕨 105,870人以上

施策① 送迎交通を含めた交通ネットワークの再構築

事業①-1 重複の軽減も含めた路線の見直し

- ▶ 重複して運行している路線 の見直しの検討
- 移動需要を踏まえた路線の 見直しの検討
- ▶ 安全が確保できる区間にお けるフリー乗降制度の導入

フリー乗降制度のイメージ ▶ (出典:島原鉄道webサイト)



事業①-2 公営の送迎交通の取り込み

- ▶ 公営の送迎交通を公共交通に取り込み、町営バスと して運行
- 民間の送迎交通の転換に係る検討
- > 官民連携型の公共交通運営の実現に向けた検討



▲送迎交通を公共交通に取り込んだ例 (出典:狭山市webサイト)

事業①-3 商業施設等への乗り入れ

➤ ニーズのある商業施設、医療機関の敷地内への乗り 入れ

事業①-4 生活航路の維持

▶ 持続可能な運航形態の見直し等の検討と、生活航路 の維持

施策② 使いやすい運賃体系の確立

町全体の公共交通の料金体系の見直し 事業②-1

▶ 町営バスを中心とした分かり やすい料金体系への見直し

▼月額定額制の事例 (出典:近江鉄道グループwebサイト)





乗車場所と降車場所により運賃が決定 → 乗継ぎを行っても直通と同じ運賃



移動したゾーン数により運賃が決定 →利用者にとってわかりやすい運賃体系

▲ゾーン運賃制のイメージ (出典:広島市地域公共交通網形成計画)

周防大島町地域公共交通計画 - 概要版 -

発 行 周防大島町地域公共交通活性化協議会

(事務局:周防大島町産業建設環境部 商工観光課)

作 成 令和 5年 3月

(令和 6年 6月変更)